

# 新しい風、伊敷中に吹く

## 新入生237名入学

# 翌 檜 新聞



志 寛 錬

第3号  
2021.5.7  
第75代  
伊敷中生徒会



### 入学式

第75回入学式が4月6日に行われました。新しい制服に身をつつみ、これからの中学生活に向けて、期待と希望に満ちあふれた新入生237名が伊敷中学校へ入学しました。今年度の入学式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクを着け、制限がかかった中で行われました。新入生が返事をする姿や入場する姿は、立派ですばらしく、新たなメンバーが加わった伊敷中はさらに明るく活発



### 堂々と返事をする新入生

になったと思います。新入生代表の誓いの言葉を述べた一年五組の小畑三佳子さんは「伊敷中の先輩方の元気なあいさつや堂々とした姿、生徒会活動に責任をもってやる姿が素晴らしい、私もあのような姿を目指したいと思いました。これから、他の学年に負けないくらい、明るく、そして一致団結することができると、先輩方の姿をこれから目標にしたいと話してくれました。

赤学年、黄学年の皆さん

### 生徒朝会の発表より

伊敷中では今年度から水曜日の清掃がなくなり、今までより更にレベルの高い「残り姿」が求められています。そこで改めて「残り姿」で気になる項目を確認していきましょう。

#### ○床のゴミ

床にある細かいゴミまで掃除できていますか。特に机の下には消しゴムのかさなどが落ちていないかを確認していきましょう。

### 残り姿を確認しよう

は、先輩として伊敷中を引っ張って行く姿を發揮し、緑学年の皆さんと共に、伊敷中学校を更に盛り上げていきましょう。伊敷中全員で学校に誇りをもち、楽しく、活発な学校生活を創っていきましょう。

(町田歩未)



丁寧に残り姿をする三年生

### みんなで協力！教科書搬入

春休みの3月26日、春らしい暖かい日差しの中、新年度の教科書搬入作業が行われました。その日の部活動に参加していた生徒のみならず、先生方で全校生徒の教科書をトラックから下ろし、本校舎二階にある家庭科室や調理室へと搬入しました。今回搬入した教科書は7000冊ほど。多くの人の協力により想定より短時間で搬入作業を終え



教科書搬入に協力する伊敷生

ました。今、みなさんが使っている教科書は、その際に運び込まれたものです。一年間大切に使いましょう。

(中村陽菜)

伊敷中の三つの門の近くには黒板があり、そこには生徒会役員が全校生徒へ向けてのメッセージを書いています。そのメッセージを生徒会新聞でも取り上げていきたいと思ひます。

### 「出会いの中であなたが一番最初にすることは挨拶でも、握手でもないわ。あなたがまず一番最初にすることは笑顔よ」

この言葉は、ムーミンのお話の登場人物リトル・ミイの言葉です。笑顔にはポジティブな気持ちになったり、コミュニケーションがスムーズになったりするなど様々なメリットがあるそうです。また、いつも笑顔でいる人のそばには自然と寄っていきたくになります。皆さんもぜひ「笑顔」を心掛けてみてください。

(鋤田結月)

### 黒板のこぼ

のでほつきで綺麗に掃くようにしましょう。黒板を簡単に消して終わらせていませんか。黒板下にも粉がたまっています。明日の授業を気持ちよく受けることができる黒板にしましょう。使った後の姿が美しいと

いうのは、使ったものを大切にすることを忘れず、切る所作がそこにあるということ。みなさんの教室はどうですか。教室の様子にクラス心が映し出されるからこそ、立ち去る前に、残り姿はこれでいいか確認してみてください。

(末永 蓮)

### 生徒会の窓

「努力は必ず報われると思ひました」東京五輪の選考レースを終えた池江璃花子選手は、インタビューに対して、涙ながらにこう答えました。

池江選手は、以前から日本の水泳界を牽引する存在として注目されてきました。また東京五輪でのメダル獲得も期待されてきました。そんな中、突如「白血病」であることが判明、東京五輪出場も断念するとの決断を余儀なくされました。それからは入院生活とリハビリの毎日。退院した後も、リハビリに追われます。それでも前を向き、辛い、苦しい十か月を乗り越えてきました。そして、厳しいといわれていた東京五輪選考レースへ出場し、日本代表入りを果たしました。きつとそのときの喜びはひとしおだったと思ひます。

皆さんの中には努力を続けているがなかなか実らず焦っている…。という人もいると思ひます。学習や部活動などにおいて、「努力」は上達するための絶対条件だと思ひます。努力を続けていく中で多くの困難にぶつかるともあろうでしょう。しかし、そんなとき池江選手の姿をみると自然と勇気をもたらすような気がしませんか。今うまくいってないなと思う人も「努力は必ず報われる」と信じてみてください。

(峯吉泰志)

# 伊敷中生徒会を知る

## 生徒会入会式

4月13日(火)、生徒会入会式が行われました。ソシオドラマを通して、伊敷中の三大伝統や専門班活動の一人一役についての紹介を行いました。

ソシオドラマを見た一年生の感想は次のとおりです。

○ソシオドラマを見て、門札をしてから「志」「寛」「錬」を三秒見ることを意識できるようになった。

○堂々と演技をしていて、分かりやすかった。

○先輩たちはみんな大きな声を出していてすごいと感じた。

○先輩たちが分かりやすく生徒会の紹介をしてくれて学校生活がスムーズになった。

一年生の感想を受け、生徒会役員の武大叶くんと芹ヶ野結惟さんは、「生徒会メンバーが春休みや朝、昼



ソシオドラマで生徒会活動を紹介する生徒会役員

休み、放課後を利用して台本を考えたり、練習したりしてきました。一年生が分かりやすいと感じてくれたのはうれしいです。」

「門札や朝作業、二着一黙…学ぶことが多かったと思います。生徒会入会式で学んだことを学校生活に生かしてほしいです」と話していました。

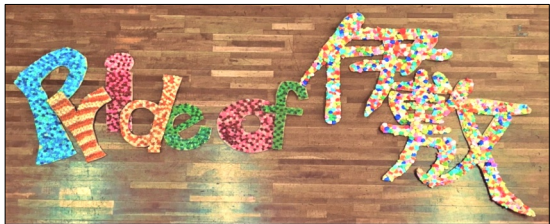
生徒会入会式の中では生徒会会長の峯吉泰志くんから一年三組の後藤瑞歩さんへ生徒手帳が渡されました。後藤瑞歩さんは、「これから頑張っていきたいと感じた。切り替えがしっかりとできるように、伊敷中生として

新入生体験入学、生徒会入会式でいつも現れるイシキーズ。イシキーズの目的は伊敷中生徒会のことをみんなに伝えるということです。生徒会活動をしている中で、疑問に思うことや質問があるかと思っています。翌檜新聞の中でイシキーズが伊敷中生の疑問や質問に答えようと思っています。



# 教えて！イシキーズ！！

pride of 伊敷～昨日の自分を毎日超える～という格好いいスローガンにはどのような思いが込められているのですか？



伊敷中では、三大伝統を始め、ソシオドラマや学校行事など、受け継いできたたくさんの方々の伝統があります。この伝統を大切に、たくさんの方々の伝統をもつ伊敷中にプライド(誇り)をもって活動していきたいと思っています。「Pride of 伊敷」というスローガンをにしました。またサブタイトルの「昨日の自分

を毎日超える」は昨日の自分と今日の自分を見つめ、一人一人が小さな成長をすることによって伊敷中の大きな成長につながるかと考え、このサブタイトルをつけました。



第75代生徒会ロゴマーク

伊敷中生としてのプライドをもち、地域や社会に誇れる伊敷中を全員で創っていきましょう。(イシキーズ一同)



生徒手帳を受け取る一年生

の自覚をもって行動していきなさい。」と目標を述べていました。伊敷中生徒会は一つ一つの専門班の活動によって成

## 日頃の行動現る

### 避難訓練

4月9日(金)に避難訓練が行われました。今回は地震を想定した避難訓練で

り立っています。それぞれの班が積極的に活動しました。そのためには、学校生活における全ての行動の意識を考えながら生活してみてください。これからもみんなが協力し合い、生徒会スローガンにもあるように「昨日の自分を毎日超える」伊敷中生でいたいですね。(脇田萌羽)

した。また、避難の訓練の後には、各学年の代表者と先生による消火訓練がありました。消火訓練を体験した福島伊風先生は「避難訓練で、3月11日に起きた東日本大震災での悲劇を思い出し、自分の命のことを考えると、自分が生きていることに対してのありがたさを改めて感じる事ができました。今回消火訓練を経験させてもらいました。準備の手順がいくつもありません、焦ってしまいましたが、手順をしっかり振り返っておくべきだと感じました。」



消火訓練をする一年生と三年生

## 編集後記

新しい学年になって一か月が立ちました。新しいクラスにはもう慣れたでしょうか。今月号は今年度最初の翌檜新聞です。

今月号は特集をたくさん作りました。入会式の感想を一年生に聞いてみました。生徒会役員として嬉しい感想ばかりでした。来月号も面白い新聞をお届けします！

(新地勇太)

(芹ヶ野結惟)